

# 令和5年度予算概算要求(酒類業振興関係)の概要 【計26.1億円( 1. 国内向け関係 14.9億円 ) 2. 輸出促進関係 11.2億円 )】

※カッコ内はR4当初予算(計14.2億円)

## 1. 国内向け酒類業振興 (1)~(3):14.9億円

### (1)酒類事業者経営改革・構造転換支援等 要求額:13億円 (7億円)

#### ① 経営改革・構造転換支援 (新市場開拓支援事業費補助金) 6億円 (対象となる取組)

- ・ **商品の差別化、販売手法の多様化、ICTを活用した製造・流通の高度化・効率化**
- ・ **コロナ禍**による市場環境変化への対応事業
- ・ 人手などリソース不足に対応するため上記取組についての **共同化推進事業**

#### ② インバウンド需要開拓支援 (日本産酒類海外展開支援事業費補助金) 7億円 (対象となる取組)

- ・ **酒蔵ツーリズム**によるインバウンド需要開拓事業 (能動的な体験ができるものを重視)
- ・ リソース不足に対応するため上記取組についての **共同化推進事業**

### (2)中小企業等経営支援経費 要求額:0.2億円 (0.1億円)

活性化・経営革新研修( **事業承継**セミナーを含む)

### (3)日本産酒類ブランド化推進 要求額:1.6億円 (1.6億円)

**地理的表示(GI)**酒類のブランド価値向上のため、国内外の先進事例に触れるシンポジウム等(琉球泡盛等のプロモーションを含む)を実施。また、国内の酒類業界活性化のためのフォーラムの開催。

## 2. 輸出促進による酒類業振興 (1)(2):11.2億円

### (1)国内におけるプロモーション 要求額:4.8億円 (1.7億円)

- ① 国際的イベント等( **サミット、万博**)におけるPR
- ② 国際的な酒類教育機関における日本酒プログラムの講師招聘
- ③ 酒蔵ツーリズムによるインバウンド需要開拓事業【再掲】
- ④ **ユネスコ登録の機運醸成**  
日本酒等のユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運を醸成するための各種PR事業

### (2)海外におけるプロモーション・販路拡大 要求額:6.4億円 (3.9億円)

- ① 酒類輸出コーディネーターによる **海外バイヤーの発掘や商談会**(大規模展示会・オンライン商談会を含む)の実施
- ② **ジャパンハウス**におけるPR(ロンドン、ロサンゼルス、サンパウロ)
- ③ **海外における日系料理教室**等の商流を活用したPR
- ④ 日本産酒類の **ブランド化支援**(日本産酒類海外展開支援事業費補助金)【再掲】
- ⑤ ユネスコ登録の機運醸成【再掲】

(注)この他に令和5年度概算要求において、以下を計上。

- ・ 酒類総合研究所に対する運営費交付金【9.7億円】(ブランド価値向上等に資する研究、国内外への情報発信強化等)
- ・ 日本酒造組合中央会の國酒振興事業に対する補助金【7.4億円】(海外サポートデスクの増設、イベント等を通じた消費者に対する情報発信等)

